

群馬県

建設業優先接種スタート

ワクチン接種



群馬県による建設業を対象

とした新型コロナウイルスワクチンの優先接種が1日、Gメッセ群馬（高崎市）に開設した群馬県県央ワクチンセンターで始まった。写真。群馬県建設業協会（青柳剛会長）の正会員の従業員約5200人が11日間で1回目の接種を終え、8月8日には第2回目全員完了する予定だ。現在は、第2弾として支部会員、正会員の協力会社まで接種対象を拡大するため、準備をしている。

当日、ワクチン接種を受けた前橋市の建設会社の従業員

は、「優先接種ができたので、これからは安心して仕事や生活が送れる。非常にありがたく思っている」と話した。

青柳会長は「近年の豪雨・豪雪災害時の復旧作業や、昨年9月とことし4月に群馬県内で発生したCSF（豚熱）の防疫作業など、災害発生時に率先して駆けつける建設業従事者が、台風シーズン前に接種ができることに安堵（あんど）している。今回の接種により、災害に強い強固な体制を築くことができ、会員企業の従業員にとってもエッセンシャルワーカーとして災害時のやりがいの醸成に大きく寄与する」とコメントしている。

群馬県 建設業のワクチン優先接種開始

群馬県は1日、建設業を完了させる。8月8日
を対象とした新型コロナウイルスには2回目の接種を終え
ウイルスワクチンの優先接種を開始した。写真は、
高崎市の大規模接種会場

で、群馬県建設業協会（青柳剛会長）は、正会
員の従業員約5200人が11日間で1回目の接種

を完了させる。8月8日
には2回目の接種を終え
は被災現場に駆け付け復
旧作業する。台風シーズ
ン前に接種できたことは
重要」と話した。

県は建設業をエッセン
シャルワーカーに位置付
け、優先接種の対象に追
加した。群馬建協は支部
ごとに進めることに安堵（あんど）

め、1日は前橋支部など
の会員企業の従業員が接
種を受けた。接種は支部
会員の協力会社まで対象
を拡大する。接種した前
橋市内の会員企業の従業
員は、「安心して仕事や
生活が送れる」とした上
を発表した。

固な体制を築くことがで
き、会員企業の従業員に
とつてもエッセンシャル
ワーカーとして災害時の
やりがいの醸成に大きく
寄与する」とのコメント

を発表した。



群建協

1日500人規模で実施

ワクチン優先接種を開始

群馬県建設業協会（青柳剛会長）は建設業がエッセンシャルワーカーとして位置付けられたことを受け、新型コロナウイルスの優先接種2回目の接種が完了する

見込み。接種は群馬県中央ワクチンセンター（Gメッセ群馬）で行われた。青柳会長は「近年の豪雨・豪雪災害時の復旧作業や2020年9月と21年4月に群馬県内で発生したCSFの防疫作業など、災害発生時に率先して駆けつける建設業従事者が、台風シーズン前に接種ができることに安堵している。ワクチン接種により、災害に強い強固な体制を築くことができ、さらには会員企業の

従業員にとっても、エッセンシャルワーカーとして災害時のやりがいの醸成に大きく寄与するものであると思う」と述べた。接種を受けた前橋市内建設業者の従業員は「優先接種ができたので、安心して仕事や生活を送ることができると思う」と、非常にありがたい。災害が発生した際には被災現場に駆け付け復旧作業を行うこととなるが、台風シーズン前に接種できたことは重要であったと思う」と感想を述べた。

第二弾としては、同協会の支部会員および正会員の協力会社まで接種対象範囲を拡大し、接種準備を進めていく。



県央ワクチンセンターを会場に